教えて！
営農さん

作物の科について

今回は、連作障害を抑えるために知っておきたい作物の科についてご紹介します。

［編集担当］
営農振興課
荒川 恵梨奈

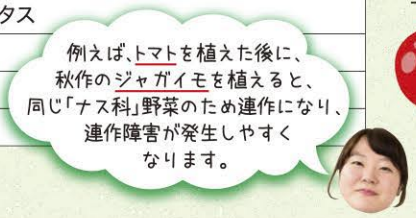
「教えて！営農さん」では、農産物の栽培に関する情報をお届けします。

作物の連作障害とは

毎年同じ場所に同じ作物や同じ科の作物を栽培することを連作といいます。品種が違っても同じ科であれば病気や害虫などが共通することが多いため、連作した作物は病害虫の影響を受けやすく、生育が悪くなってしまいます。これを連作障害といいます。特にアブラナ科の作物は、連作すると根こぶ病が発生しやすくなり、注意が必要です。

意外と知らない作物の科の分類（一例）

科	品目
アブラナ科	カブ　キャベツ　コマツナ　ダイコン　ハクサイ　ブロッコリー　ミズナ　ワサビ
ナス科	シシトウ　ジャガイモ　トマト　ナス　ピーマン　ペチュニア
ネギ科	タマネギ　ニラ　ニンニク　ネギ　ワケギ
ウリ科	カボチャ　キュウリ　ゴーヤ　スイカ　ズッキーニ　マクワウリ
キク科	ゴボウ　シュンギク　レタス
ヒユ科	ケイトウ　ホウレンソウ
イネ科	タケノコ　トウモロコシ
バラ科	イチゴ　サクラ



営農EYE

連作障害を防ぐには、同じ場所で異なる科の野菜を順番に栽培する「輪作」や、病害虫の被害を抑えたり生長を助ける共生植物を混合栽培する「混植」、消毒剤を使ったり太陽光で消毒する「土壌消毒」などの方法があります。また、堆肥など有機物を投入することでも効果があります。連作障害を抑える方法については、地区担当の営農指導員にご相談ください。

連作障害が出やすいもの

連作障害が出にくいもの

はじめての
家庭菜園

ピーマン

カロテンやビタミンCなど栄養たっぷり

「無駄花はない」といわれるほど、よく実をつけ、栽培しやすいピーマン。ビタミンCの含有量は、トマトの約4倍と栄養価に優れた野菜です。

❶植え付け

苗は最初の花がついたものを選ぶ

苗は、最初の花がついた頃が植え付け適期。鉢は、支柱を立てて6分目まで培養土を入れる。取り出した苗を鉢の中央に置き、苗の鉢土の表面と同じ高さまで培養土を足し入れる。仮支柱で茎を固定し、水をたっぷり与える。

❷整枝

横支柱を立て、株を支える

最初の実は、大きくならないうちに収穫する。実があったところから枝分かれするため、それより下にあるわき芽は、付け根部分から切り取る。実が大きくなって混み合ってきたら、根元付近のわき芽を取る。枝の分かれめの下あたりに横支柱を1本通して茎と鉢の両端に挿した支柱に結びつけて株を支える。

❸収穫・追肥・増し土

最初の収穫後から追肥を行う

開花後、15日経った頃から収穫可能。実を収穫するようになったら定期的に追肥する。鉢の縁近くに肥料を入れ、その上から培養土を子葉の下あたりまで足し入れる。2～3週間に1回を目安に追肥を行う。

ここに注意

- ハダニの発生を抑えるため、土が乾燥しないように気をつける。長く収穫するためにも、定期的に追肥、増し土をする。

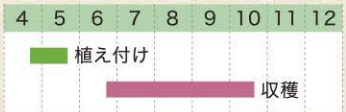
栽培のポイント

- 十分に暖かくなってから、植え付ける。
- 緑色から赤色になるまで完熟させると甘みが増す。

用意するもの

- 苗
- 培養土
- 鉢（10号）
- 鉢底石
- 支柱
- 紐
- 肥料

栽培カレンダー



参考文献：コンテナでつくるはじめての野菜づくり（新星出版）
からだにおいしい野菜の便利帳（高橋出版）